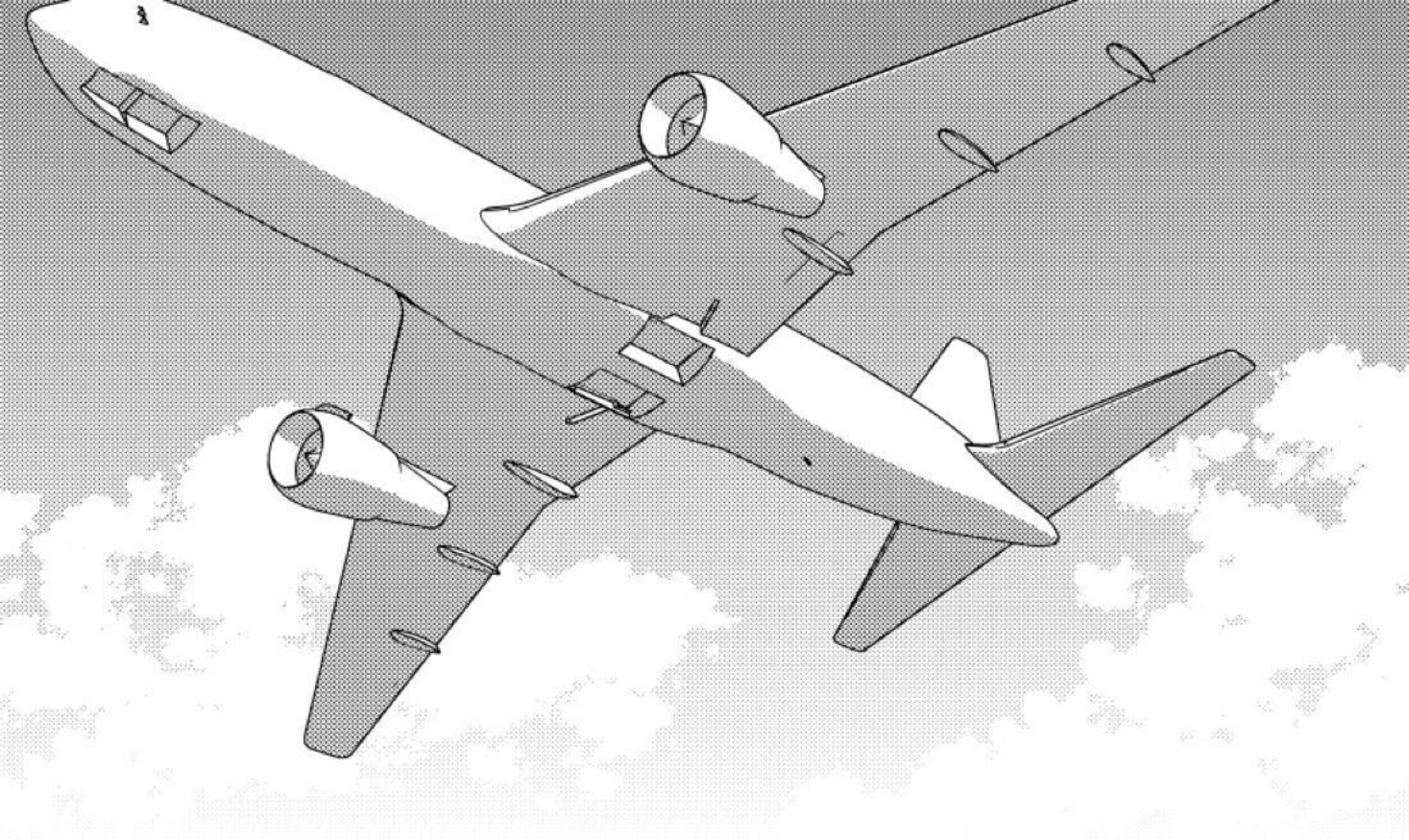




eden2



## eden2

「あの戦い」から数ヶ月一

秘密裏にボンゴレに回収され、監視可に置かれていた白蘭が昏睡状態から目覚める。  
彼は指輪とともに能力を失っていた。

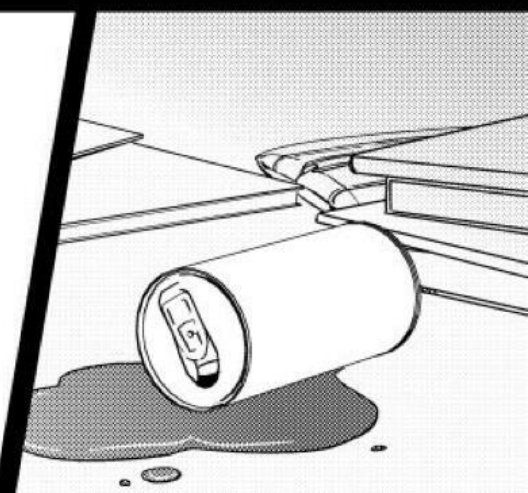
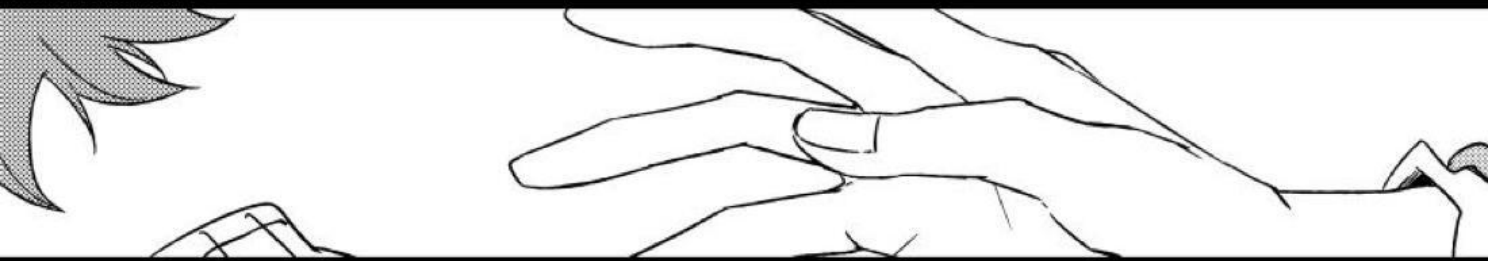
白蘭が生きていたことを知った正一は、彼に会わせて欲しいと綱吉に懇願する。  
不安と戸惑い、あるいは別の名のあるものを内に抱えながら。

白蘭が軟禁されている辺境のボンゴレアジト。  
そこで再び二人は顔を合わせた。

### attention

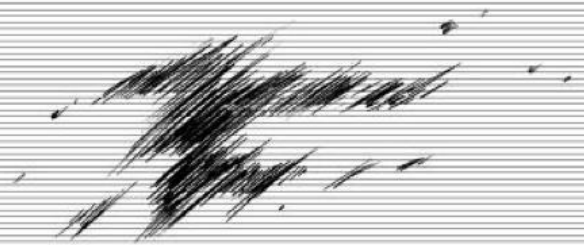
- 2011年8月発行白正本「eden」の後編です。
- 30巻のエピローグその後のお話です。  
エピローグの海蘭はこの本では未来白蘭の設定です。
- 現代白正が本誌に出る前に描き始めた話なので原作との矛盾等  
あるかもしれませんが、もはやパラレル(魔法の言葉！)













eden2







いじりなさい



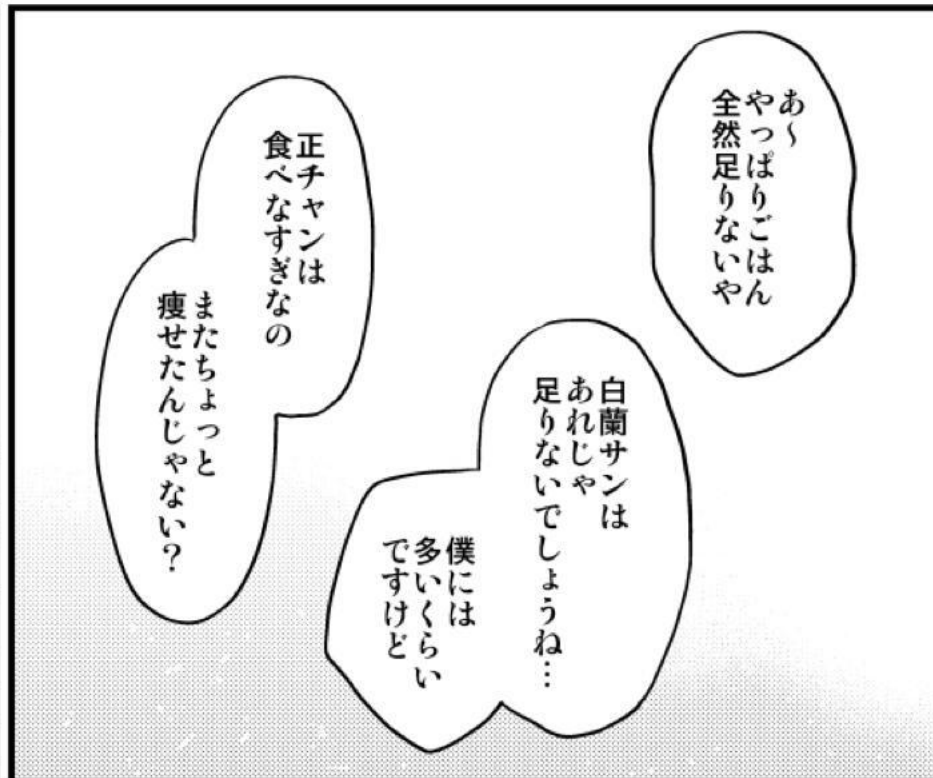
食器廊下に  
出るときますね

喜ぶと思うよ

できるなら  
僕もそうして  
あげたいんだけど



おかげさまで



あく  
やっぱりごはん  
全然足りないや

白蘭サンは  
あれじゃ  
足りないでしょうね…

僕には  
多いくらい  
ですけど

正チャンは  
食べなすぎなの

またちょっと  
痩せたんじゃない？



近

ひん!

ここの通信経路?

けっこう複雑だね

わ

作業は明日からって  
言ってたかったっけ?



お

エンジンアっぽい

故障箇所から原因を推測しておこうと...

ってまた堂々と...

これ一応機密資料なんですけど

メインと繋がってるPC借りてきたんですから

いい感じ



10代目



ただの技術屋です



...僕は



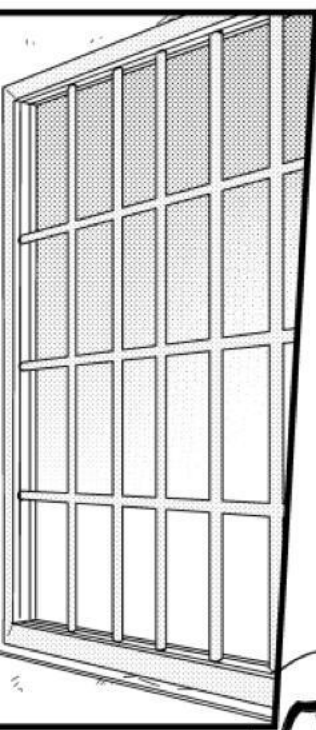




正一君は——



ちよつと  
白蘭サン！  
子供みたい  
邪魔のしかた  
しないで  
ください」



ん……



静か々  
ヒマ々



だって正チャン  
全然遊んで  
くれないんだもん







あいにく  
最小限の荷物で  
出て来たもので

白蘭サ…

にしてもさー  
ヒマ潰しが  
少なすぎなんだよね

いいかげん  
本も読み飽きちゃった

正チャン  
マンガとかゲーム  
持ってきてない？



ゲーム

…あ  
いや

…ありました



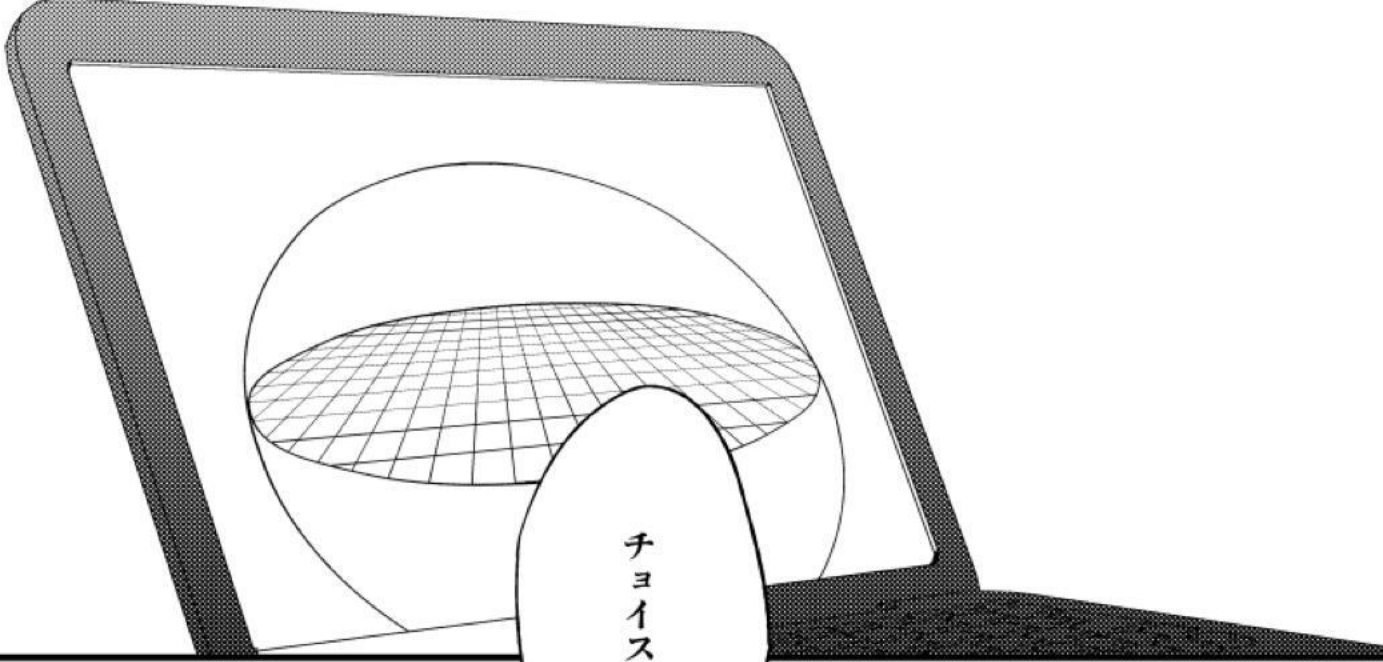
ホント？  
貸してよ

ちょっと  
待ってください  
ボンゴレのPCに  
転送します

…まだ  
対戦でのテストは  
してないので

もしかしたら  
バグが多いかも  
しれませんけどー





チョイス…



まだ本調子じゃないけどね  
だいぶいいよ

ボンゴレは  
優秀な医療班を  
持つてるね

きつと  
起き上がるのも  
大変だろうとか  
思ってたのに

まったく  
拍子抜けですよ

心配して  
くれてたんだ？

おれ



ワクワク  
するなく

久しぶりだから  
ハンデちょうだいね

元気ですね…

この間まで  
昏睡状態って  
嘘じゃないんですか

ミルファイオーレも  
医療面にもっと  
力を入れるべき  
だったかな？

：人員も設備も  
充分なものを  
用意していた  
つもりですが

パファイオペディラムの  
医療設備は  
立派だったよね

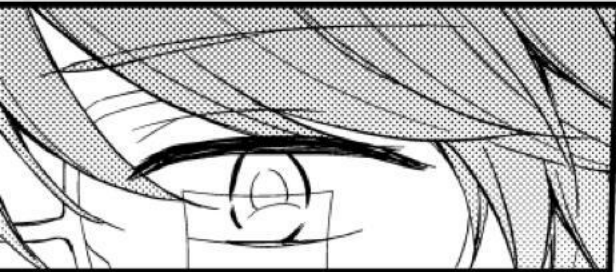
：あの後  
何回か本部に  
行ったんです

へえ

懐かしさで  
涙が出たり  
しなかった？

忙しくて  
そんな暇  
ありませんでしたよ

施設や  
兵器の機能停止が  
主な仕事だったん  
ですけど――



嫌味だな

ボンゴレの  
エンジニアとして？

それとも  
設計した  
張本人としてかな

あ、僕  
エンジニア  
かな

：気づきません  
でした

本部の  
地下――

あんな祭壇が  
あったなんて――

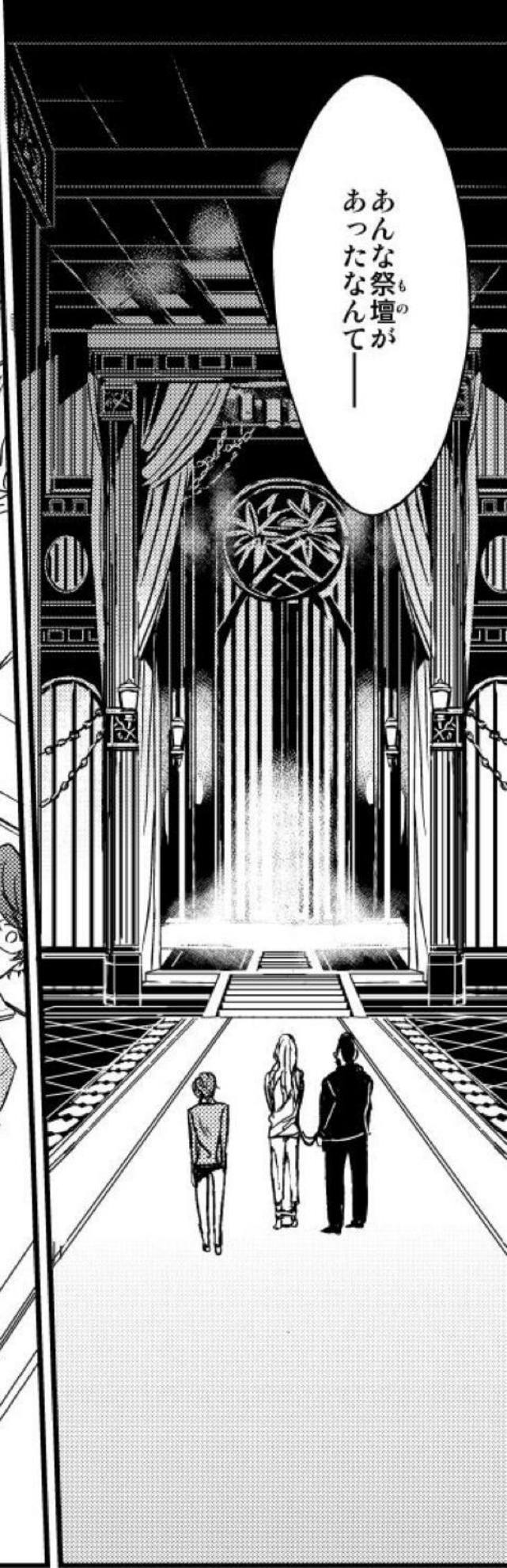
全然……

……ま

当然だよな

内緒に  
してたんだし

!







正ちゃんに  
気付かれないように  
準備するの  
骨が折れたんだから

…そうですよ!

いったい  
どうすれば  
あんな…

それは  
企業ヒミツ♪

白蘭サン!

…違う



そんな顔  
させたいんじゃ  
なくて



…こんなこと  
言いたいんじゃ  
なくて

(そうじゃなくて)



シヨーチ!



なあ

街中で  
ビヤクランと  
抱き合ってたって



何がだい？

聞いたわよー  
案外ダイタンなのね



…ったく

あつ  
遅れちゃうから  
またね

bye.

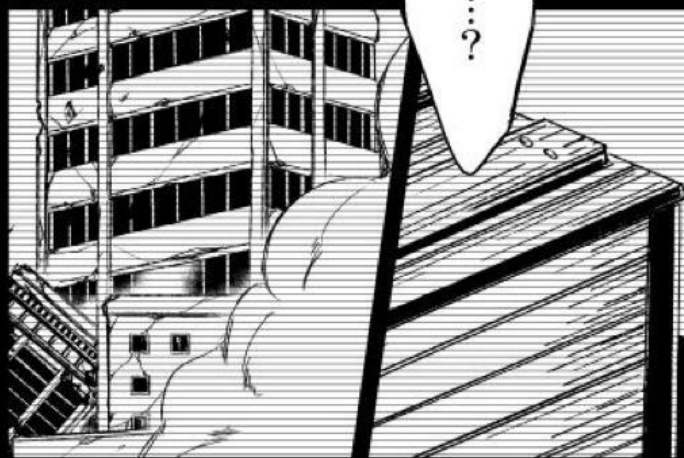
だから  
違うんだって

もしかしてって  
思ってたけど  
やっぱりね♥  
大丈夫よ  
私そういうの  
気にしないから

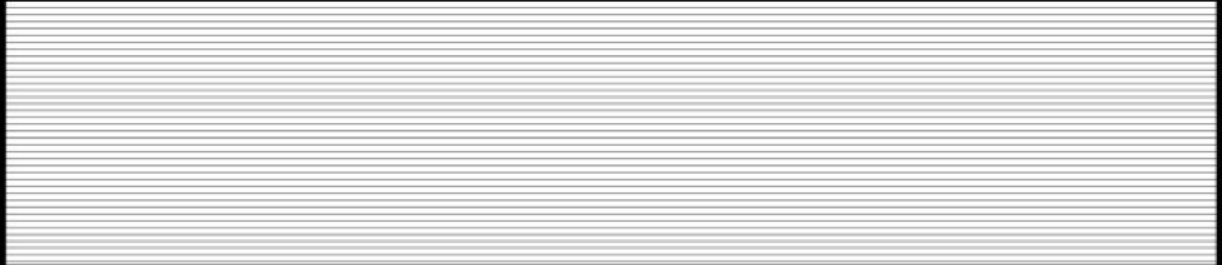
あつ  
あれはその…

抱き合  
い？









だから  
ごはん買ってく？  
ってメールしたのに

お見舞いに  
来ないで  
なんてさ

「フッッ  
からッッ



ホント？  
ほんとに  
ヘーキ？

平気  
ですって

一週間も寝てたんで  
体が鈍って  
しようがないですけど

食べるモノ  
なくなりそう  
でしたよ



大丈夫って  
あんなに  
言ったのに

そういうこと  
言う人に限って  
うつるんです

だからー



僕は  
うっされても  
大丈夫なのよ



話？

でも  
学校来れる  
ようになつて  
良かったよ

ちようと  
正チャンに  
話したいこと  
あったし



正チャンは  
そのまま  
大学院にでも  
進んじやいそう  
だよ

それとも  
どこかの  
技術職にでも  
就くのかなー  
ありえよ



うん

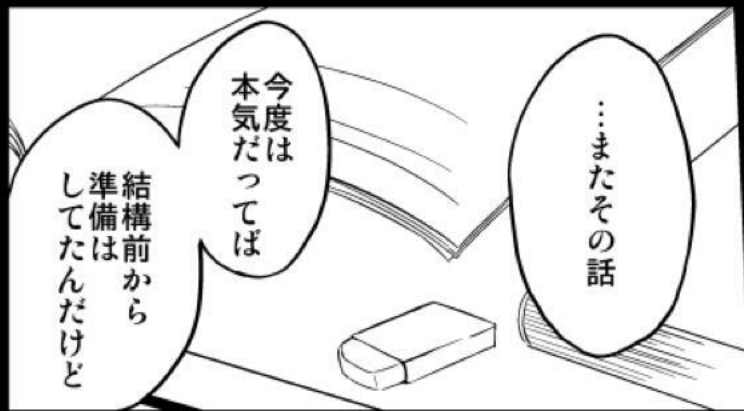
正チャン  
進路つて  
決めてる？

：何ですか  
突然  
まだ  
具体的には



で  
本題

人のこと  
だからって  
チケットに  
まあ  
そういうのも  
悪くない  
ですけど…









本気  
なんですか…!?



続きは  
また今度ね

お  
ゴメン正チャン  
入っちゃった



……やっほじ

白蘭さんは

……

はら……



やっほり

あの時と  
同じ




引き起こした  
つてのか

…みんな  
僕が





僕の下で  
働く気はない？



…これは

チャンス

だ



ほら



やっぱり  
正ちゃんも

他の世界の  
正ちゃんと  
同じ目で

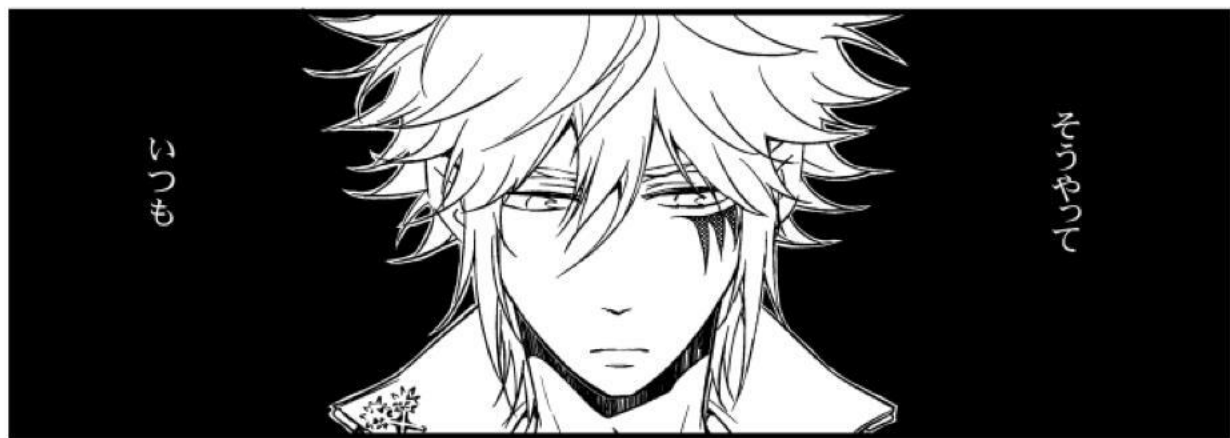
…その目で  
僕を見るんだね



どの世界でも  
そうだった

勝ち目なんか  
無いって  
わかってるくせに

最後まで  
負けず嫌いのまま



そうやって

ごじ



いつも  
正ちゃん  
はあつ  
けなく

僕の前  
から







チヨイス以外にも  
何かないの？

…



何言って…

おかげで  
久々にゲーム  
できたしね♪

そんな

当たり前  
だろ



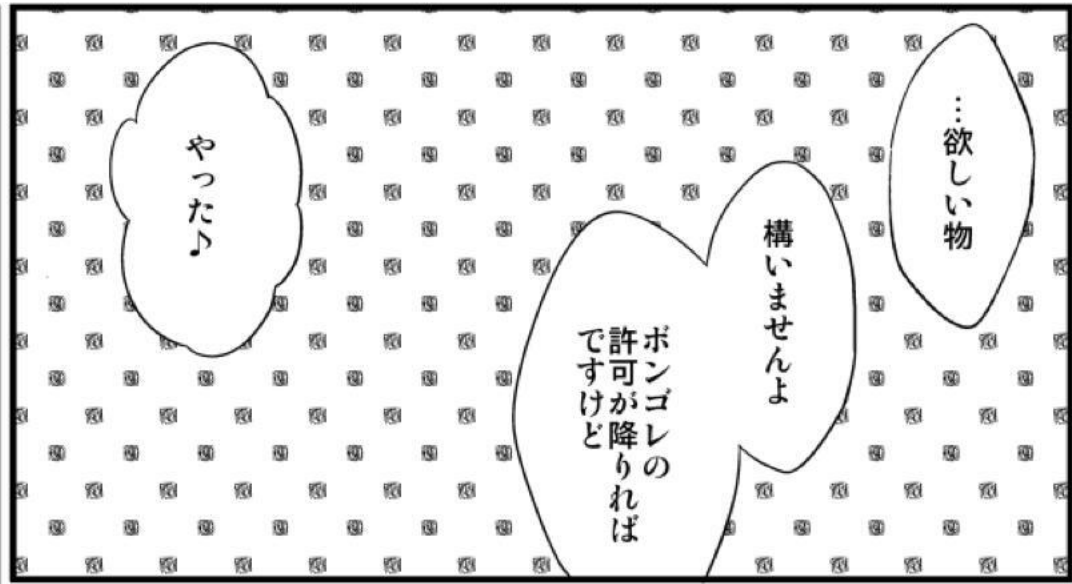
じゃあさ

…「次」

僕が勝ったら  
なにか欲しいもの  
リクエストしていい？

これしか  
ありません！

なんなら  
次来る時は  
本当にゲーム機  
持ってきますか



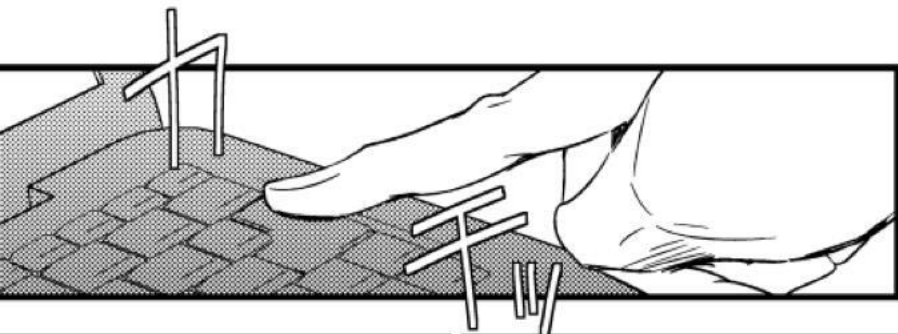
やった♪

…欲しい物

構いませんよ

ボンゴレの  
許可が降りれば  
ですけど





お茶とって

これで  
3回目だね♪

わかりましたよ  
リクエスト  
でしたか



なにが  
いいぞよ

白蘭サン  
全然カン鈍つて  
ないですね…

また  
勝ったー♪



僕が今  
ほしいものは  
さつきから

ボンゴレの許可は  
必要ないよ

戻ったら僕から  
ボンゴレに

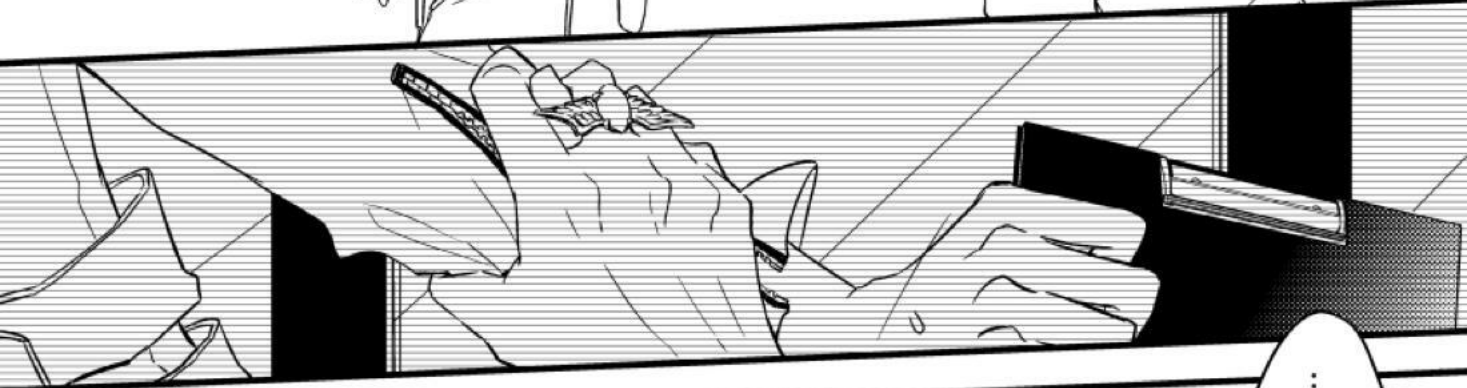


ゲームですか？  
漫画？お菓子？





つかまえた



自分を裏切った  
人間ですよ

あなたに  
したら僕は

…離してください



…うん  
「世界を守った」  
んだろ？

最初から

アメリカだって  
そのために  
行かされて

「僕」の思い通り  
あなたに近づいた



…そもそも

白蘭サンの能力を  
目覚めさせて  
しまったのも

あんな形でしか  
止めることが  
できなかったのも

全部



ぜんぶ  
僕が――



む

ガッ

グッ

！！！！



面倒なの

…変にかたいところあるんだよなあ  
正チャン



ちょ  
ちよっと

なんで  
ガードするの  
正チャン

話の途中  
なんですけど!?

空気が読めない

なんか  
長くなりそうだったし…

ここは  
キスして仲直りよって  
お決まりのハターン  
かなって

どこの世界の  
お決まりですか!



ぶち?

?





もう!!!

あ——



めんどくさいよ!!

ふんせー!

お

僕は!

わ

イテ



本当にこれで  
よかったのか

計算違いは  
なかったか

他に方法が  
あったんじゃ  
ないか



「世界を守った」  
なんて

僕が言われるような  
言葉じゃない

何度考えても  
行き着くのは

白蘭サンが  
いなくなった

あの瞬間で…

…正チャン

とか悩んでたら  
実はボンゴレが  
保護してたつて!?

しかも  
意外と元氣そうだし  
いつもいつも  
無茶苦茶なんですよ  
白蘭サンは!!

逆ギレ…

……よかった



生きててくれて  
よかった……!!











自分を責めなくとも  
いいと思うんだよ



…生きてて



よかった

か



はじめて  
思った



eden2





そういえばあの後  
散々言われたの  
思い出しましたよ…

見られたところで  
ペナルティ  
あるわけでも  
ないのに

僕が  
恥ずかしいん  
です!

今度人前で  
ああいうことしたら  
一週間は  
口ききませんからね!!

白蘭サン  
街中で抱きついたり  
するから…

少しは周りも  
気にしてください

えー  
ひどいルール  
フェアじゃないよ

どっちがですか…

…

ね

やっぱりちようだい

正ちゃんの世界

え…



ポーナステージって  
とこかな

楽しそうじゃない？



似合いませんね



あ  
ヒロイン 粹ってのも  
ありかな

正チャンは  
仲間かラスボスか――



相手は相手  
だからなあ



…簡単に攻略できると  
思ってるんですか？



自信はあるよ



でも

ま



...どこから  
来るんだか



...まったく



この人は





待たせ  
ましたか?

ううん



ちゅ.



さっき  
来たところ

行く

